

第 10 表 府 県 別 民 有 地

本表は全国の各市町村（東京では区）が保管している土地台帳または土地補充課税台帳に登録された土地のうち、地方税法第5条、第34条の規定により課税の対象となる土地にかんする各年1月1日現在の数字である。

府 県	総 数	市	部	郡	部	田	畑	宅 地	山 林	牧 場	原 野
昭 和 38 年	15 484 469	4 406 229	11 177 363	3 056 550	2 759 566	619 434	7 238 685	181 186	1 629 150		
39	15 574 028	4 480 598	11 202 764	3 092 283	2 668 648	654 655	7 554 922	192 755	1 407 864		
40	15 720 005	4 522 891	11 197 114	3 096 708	2 660 923	677 409	7 574 457	192 483	1 399 042		
41	15 746 992	4 581 538	11 165 453	3 097 758	2 646 570	700 322	7 589 103	191 414	1 396 376		
昭 和 42 年	15 771 631	4 753 515	11 010 115	3 096 545	2 635 752	723 096	7 950 564	193 200	1 400 127		
北海道	2 771 067	496 434	2 274 633	233 747	668 011	40 334	1 066 577	177 883	554 048		
青森県	356 791	109 183	247 608	73 871	77 965	12 002	110 392	943	79 308		
岩手県	715 323	199 313	516 010	72 255	81 115	13 124	395 263	8 738	143 590		
宮城県	301 103	65 707	235 396	103 436	43 895	15 519	128 118	3	9 333		
秋田県	304 941	72 505	232 436	111 280	30 730	11 407	86 864	41	63 839		
山形県	344 971	154 139	190 832	101 698	43 567	11 285	146 931	8	40 561		
福島県	542 307	192 087	350 220	104 932	95 039	16 500	276 698	3	45 959		
茨城県	413 252	97 730	315 523	96 668	133 976	25 401	137 794	56	16 530		
栃木県	342 083	137 045	205 038	87 820	65 265	17 569	155 617	1 223	12 836		
群馬県	267 626	76 795	190 831	37 487	83 400	16 189	107 777	473	20 837		
埼玉県	249 897	109 851	140 045	65 450	86 459	28 286	62 952	-	3 227		
千葉県	358 552	140 804	217 748	103 455	86 203	27 799	121 149	1 530	14 585		
東京都	113 098	74 815	38 284	5 642	23 170	41 002	37 438	-	2 581		
神奈川県	141 122	92 653	48 468	16 380	37 826	30 091	48 403	-	5 072		
新潟県	491 875	174 863	317 012	180 221	54 096	21 401	212 286	-	18 233		
富山県	147 181	64 014	83 167	74 958	10 125	9 685	46 752	-	3 540		
石川県	165 258	71 868	93 390	52 972	15 342	8 259	82 275	0	5 318		
福井県	174 720	71 306	103 414	46 888	8 515	6 573	108 755	0	3 098		
山梨県	131 481	33 601	97 880	18 712	33 365	6 041	61 602	-	11 206		
長野県	444 914	148 139	296 775	80 142	93 660	17 905	188 916	1 491	60 640		
岐阜県	483 730	90 910	392 820	64 009	30 545	13 837	356 314	-	15 415		
静岡県	436 806	181 389	255 417	53 208	71 385	22 461	259 831	4	24 851		
愛知県	276 410	135 648	140 762	86 808	55 134	36 266	89 565	-	4 110		
三重県	290 930	107 080	183 851	67 510	30 134	12 651	173 176	0	4 468		
滋賀県	175 226	36 193	139 033	64 500	8 617	8 430	88 548	0	3 621		
京都府	168 096	81 305	86 790	37 932	13 529	11 476	100 230	7	3 136		
大阪府	91 236	75 214	16 022	32 118	7 597	29 066	19 528	-	876		
兵庫県	436 585	153 505	283 080	97 293	17 186	25 436	284 469	0	7 653		
奈良県	150 312	38 411	111 901	28 201	9 117	5 374	104 191	0	1 490		
和歌山県	248 033	38 342	209 692	25 708	17 606	5 664	197 241	-	1 363		
鳥取県	152 845	31 168	121 677	32 714	16 555	4 831	79 986	-	18 119		
島根県	374 693	99 717	274 976	52 477	21 139	6 669	286 459	2	6 557		
岡山県	344 182	96 644	247 539	86 197	32 542	14 366	202 949	-	5 177		
広島県	455 383	88 914	366 469	69 507	31 010	15 631	332 731	3	4 452		
山口県	303 186	120 848	182 338	68 043	20 029	13 304	190 807	1	6 886		
徳島県	195 368	37 942	157 426	28 500	21 793	5 812	137 173	-	782		
香川県	112 318	30 986	81 331	36 328	13 491	6 966	53 418	-	269		
愛媛県	284 703	82 431	202 273	41 881	43 325	9 951	186 695	-	1 528		
高知県	335 030	107 680	227 350	33 423	22 629	4 753	269 263	-	3 624		
福岡県	270 568	97 388	173 181	98 731	30 354	28 246	83 614	15	22 185		
佐賀県	142 746	53 759	88 987	51 730	19 626	6 199	45 281	4	19 033		
長門県	174 703	57 827	116 876	31 432	51 426	8 998	66 049	1	15 362		
熊本県	283 248	65 511	217 737	77 661	72 502	14 321	94 353	728	22 796		
大分県	212 101	76 322	135 778	55 457	33 323	9 375	79 361	-	32 628		
宮崎県	221 762	84 789	136 973	46 768	49 477	9 687	93 890	38	20 717		
鹿児島県	373 868	100 741	273 127	60 391	123 958	16 950	132 882	0	38 685		

第 2 章  
気 象

# 第 2 章 気 象

## 年間概況

昭和43年の大阪の気象状況をみると、年初は昨年と比べ、大陸高気圧が南偏して張り出すことが多かったため、本邦付近は北に暖く西に冷たい気圧配置の型が持続し、全般に気温は低目であったが、その後周期的な変化をして順調に暖くなり、高温少雨に経過した。

入梅は昨年より9日早く6月13日であったが、最盛期になるにおよんで前線活動の活発な日が多く、7月2日には阪神地方に大雨が降り、その後も近畿地方で局地的に大雨が降った。しかし17日に前線が北上して梅雨あけになり暑さも平年にもどったが、夏期としては概して低目であった。

本年は27個もの台風が発生したが、その中で特に8月17日から18日にかけて台風7号の衰弱した低気圧から南にのびる前線上に雄大な積雲が発生して局地豪雨を降らし、岐阜県では観光バスが飛騨川に転落して50余名が死亡するなどの事故が発生した。

秋から冬にかけては晴天が多く高温多照となり、冬型気圧配置になることが少く暖冬であった。

## 月別概況

1月は先月に引続きシベリア高気圧が発達し、南偏して張り出すことが多かったため本邦付近は北に暖かく、西に冷たい気圧配置が持続したため、西日本は全般に気温は低目に経過した。大阪は都市気候の影響もあって月平均気温は平年並の4.5°Cであった。降水量は上旬と月末に多く、中旬から下旬にかけてきわめて少なかった。しかし月総量はほぼ平年並の42.0mmであった。

2月は大陸高気圧が発達して冬型気圧配置が持続し、西日本は平年より2~3°C低くきびしい寒さが続いた。このため大阪の月平均気温は3.2°Cで平年より1.7°C低かった。また台湾付近で発生した低気圧が発達して太平洋岸をとおり、14日から15日にかけて雪となり、大阪市内は1cm程度であったが北摂の天王では68cmにもおよぶ積雪を見た。なお月降水量は総じて平年並となった。

3月の天候は周期的な変化をし、気温は上旬かやや低目、中旬は並、下旬はやや高目に経過し、2月の低温に比べ3月は順調に暖くなり、月平均で平年よりやや高目の8.9°Cとなった。降水量も気圧の谷がとおるたびに雨が降り平年並の96.0mmであった。

4月の上、中旬は高気圧におおわれて晴の日が多かった。このため気温は高目に経過し、月平均気温は平年より1.4°Cも高かったが月降水量は好天の日が多かったこともあって少なく、平年の85%にあたる104.0mmであった。

5月は高気圧におおわれることが多く4月に引続き高気圧におおわれて五月晴れに恵まれた。特に雨が降り悪

天だった日は4、7、18、27日にすぎず高温少雨に経過し、月平均気温は平年より0.4°C上回る18.7°Cであった。

6月の上旬は高気圧におおわれて晴の日が多かった。中旬に入って梅雨前線が北上し、本州南岸に停滞したため、13日から近畿地方では梅雨の入りとなった。しかし20日から23日までは高気圧におおわれ梅雨の中休みとなったが、再び25日から前線が接近して梅雨の最盛期に入った。

7月の前半は梅雨前線が本州南岸に停滞し、前線が活発で2日には阪神地方を中心に大雨が降りその後も5日、15日には近畿地方の所々で大雨が降った。しかし17日には日本海の低気圧に連なる前線も北上し、つゆ明けとなった。

8月はじめは大きな気圧の谷に入ったため雲の多い天気であったが、中旬の後半台風7号が接近し17日から18日にかけて局地豪雨を降らし、岐阜県では飛騨川事故が発生した。また月末には台風10号が接近し九州から中国地方を横断したため、曇りで俄雨の日が多かったが、月総降水量は平年の81%に当たる95.5mmであった。

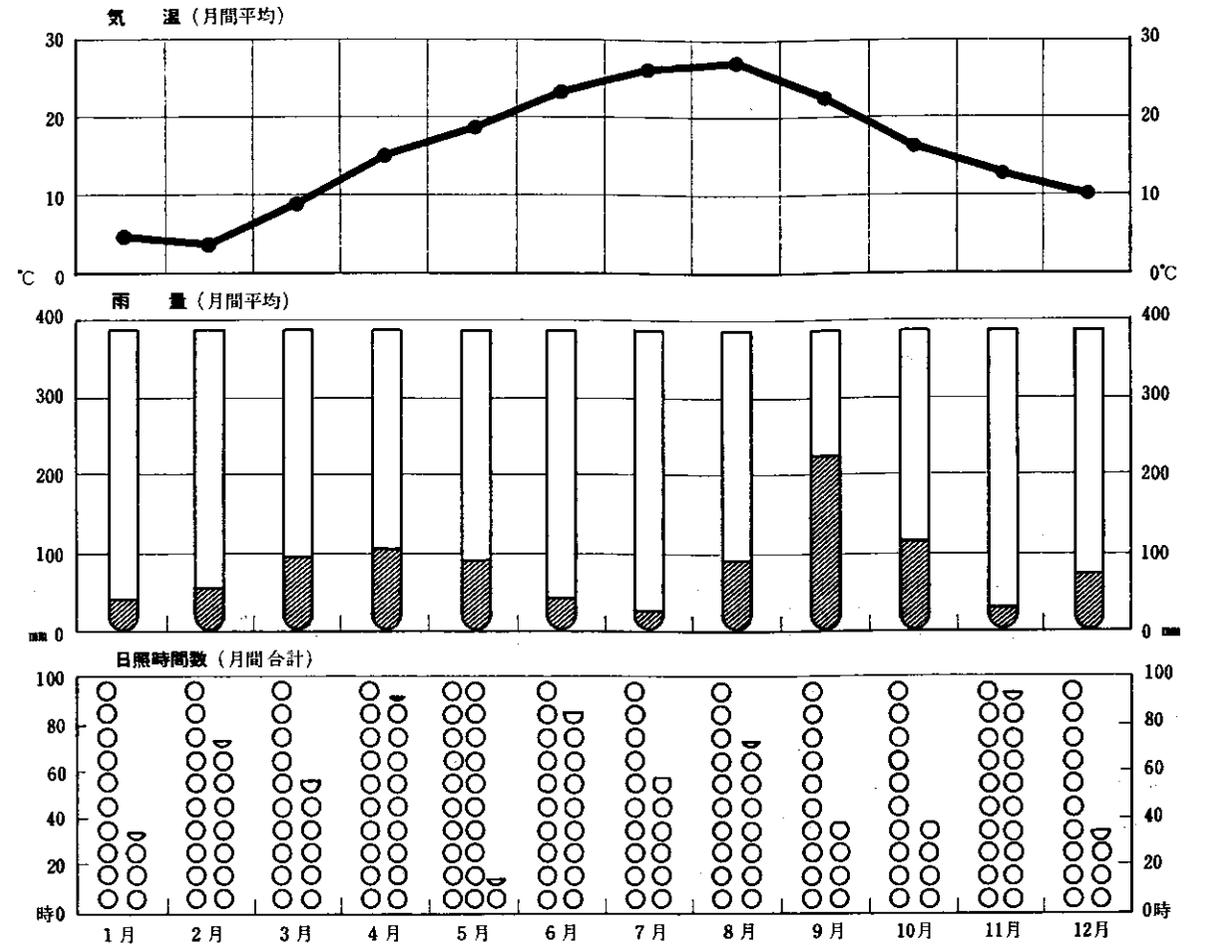
9月は本州南岸に秋雨前線が停滞することが多く、一方南方洋上には台風12号から17号まで発生して西進又は東方洋上を北東に進んだため、曇り勝ちで雨の降る日が多かった。このため例年のような残暑がなく低温傾向が続き、月末になって平年より高い傾向に転じた。降水量は中旬の発達した低気圧の通過によって降った雨と、月末の台風16号の影響によるものを主に月総量は平年の131%に当たる223.5mmであった。

10月上旬は本邦付近に前線が停滞することが多く、中旬に入っても高気圧が北に偏り、下旬の前半は台風19号の影響などあって、全般に雲の多い日が続く上旬を除いて平年より低目に経過し、降水量はほぼ平年並の114.0mmであった。なお台風は18号から22号まで発生した。

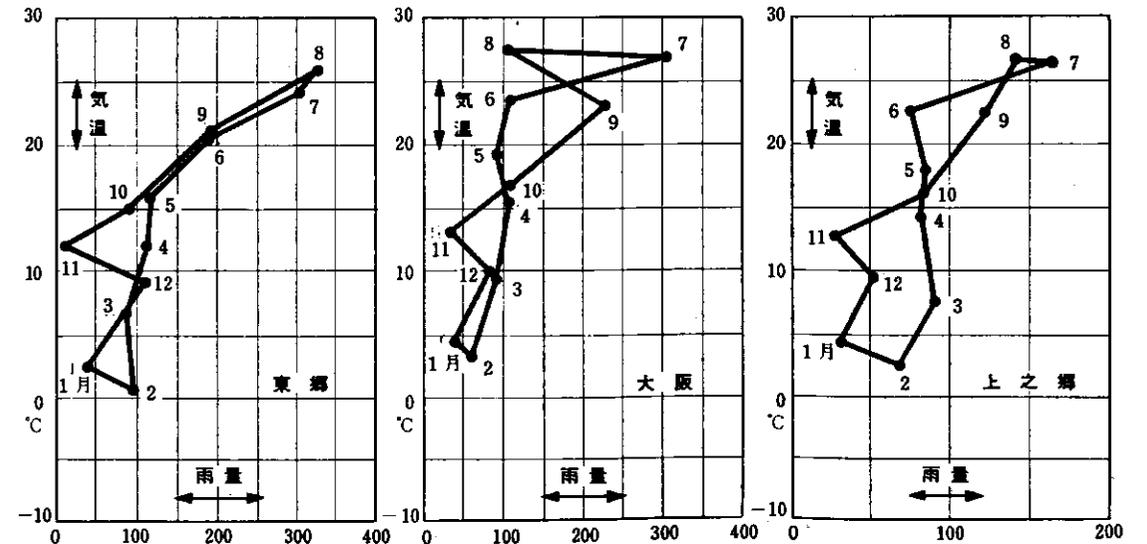
11月は移動性高気圧におおわれる日が多く、晴天が持続した。気温は中旬より一時的に冬型気圧配置になって冷え込んだ時間を除いて平年より高目に経過し、下旬には4~5°Cも高い状態となり8月から続いた低温傾向が終り高温多照に経過した。したがって月平均気温は平年より1°C高い12.9°Cであった。また降水量は少なく、月総量は平年の40%に当たる32.0mmに過ぎなかった。

12月は例年に比べ大陸高気圧の張り出しが弱く、移動性高気圧と低気圧が交互に西日本付近を通過したため気温は例年より高目となり、とくに上旬は5°Cも高目であった。したがって月平均気温は平年を3°C上回る10°Cとなった。降水量も頻りに低気圧が通過したため平年の1.5倍に当たる78.5mmを記録した。

### 気温・雨量と日照時間数 第2表参照



### 気温(午前9時)と雨量の相関関係



第 1 表

大阪管区気象台

本表は「近畿気象要覧」によったものである。

Table with columns: 位置, 経緯度 (東経, 北緯), 海面上高, 創立年月日, 主要材器の位置. Includes data for Osaka Regional Meteorological Station.

資料 大阪管区気象台。

第 2 表

気 象 概 況

本表は大阪管区気象台での観測概況である。平均気温は1日8回の平均値から、平均湿度は相対湿度ともよび1日4回の測定値からその日の平均値が計算される。雲量は全天雲に被われた場合を10とし、雲のない状態を0とした基準、平均風速は0時~24時の全風程から求められている。平年各欄のうち\*印は過去における最高最低および最大値である。

Table with columns: 年 月, 平均気圧, 気 温 (平均, 最高値, 最低値), 平均湿度, 雲 量, 風 速 (平均, 瞬間最大, 風 向), 降 水 量 (総量, 最大時量), 日照時間 (総 数). Includes monthly and annual data from 1939 to 1943.

資料 「近畿気象要覧」

第 3 表

天 気 の 概 況

本表は大阪管区気象台での観測結果による日数である。なお区分中の降水量≧0.1mmが43年より降水量≧0.5mmに変更された。

Table with columns: 区 分, 昭和40年, 昭和41年, 昭和42年, 昭和43年 (1月-12月). Includes data for precipitation, temperature, and other weather metrics.

資料 「近畿気象要覧」

第 4 表

気象官署区内観測所の平均気温

本表は標記各観測所において観測したものである。( )内は観測値が欠けているものを除いた平均値である。なお大阪は観測所が移転したため平均が算出出来ない。

Table with columns: 地 名, 昭和40年, 昭和41年, 昭和42年, 昭和43年 (1月-12月). Includes monthly average temperature data for various stations.

資料 「大阪府気象月報」

第 5 表

気象官署区内観測所の降水量

本表は標記各観測所において観測したものである。( )は欠測による誤差が隣接観測所の観測から推定して10%以下と考えられる数値である。

Table with columns: 地 名, 昭和40年, 昭和41年, 昭和42年, 昭和43年 (1月-12月). Includes monthly precipitation data for various stations.

資料 「大阪府気象月報」

第 6 表

大阪市内の地盤沈下量

本表は大阪市の委託により大阪管区気象台が観測したもので( )は推計値。㉔、㉕は観測井戸管の深さによって区別してある。

年 月 中	鶴 町	九 条		西 島		島屋町	天 保 山		田中町	姫 島	中之島		十 三	蒲 生	
		㉔	㉕	㉔	㉕		A	㉔			㉕	㉔			㉕
昭和 39 年		-9.99	-6.04	-5.66	-14.67	-6.56	-8.84	-15.61	-21.61	-25.48	-11.46	-20.65	-15.14	-15.32	-43.30
40		-6.86	-2.33	-2.62	-4.70	-0.16	-3.68	-11.80	-10.02	-8.60	-6.90	-2.06	+3.55	-5.28	-29.73
41		-6.06	-1.79	-2.29	-8.85	-5.67	-2.80	-7.40	-9.04	-8.18	-11.56	-10.27	-7.67	-4.39	-19.15
42		-6.23	-1.67	-2.46	-3.12	-4.50	-2.92	-7.80	-7.53	-5.77	-9.86	-1.22	+2.55	-4.94	-16.36
昭和 43 年		-6.92	-1.44	-2.03	-2.02	-4.35	-4.10	-7.70	-4.66	-11.35	-10.44	-9.13	-8.58	-4.80	-11.24
1 月		-1.29	-0.17	-0.18	-0.31	-0.22	-0.07	-0.67	-0.47	-0.69	-1.79	-1.32	-1.13	-0.25	-0.59
2 月		-1.13	-0.28	-0.22	-0.44	-0.86	-0.45	-0.65	-0.53	-1.40	-1.80	-1.36	-1.24	-0.64	-0.72
3 月		+0.21	-0.07	-0.17	-0.03	-0.58	-0.28	-0.86	-0.66	-2.09	-0.90	-1.29	-1.45	-0.37	-0.54
4 月		-0.58	-0.03	+0.04	-0.29	-0.60	-0.47	-1.19	-0.57	-0.22	-0.63	-0.02	±0.00	-0.26	-0.43
5 月		-0.33	+0.02	+0.01	-0.05	-0.07	+0.02	-0.78	-1.12	+0.10	-0.22	-0.19	-0.11	-0.22	-1.40
6 月		-0.51	±0.00	-0.08	-0.06	-0.14	-0.13	-0.28	-0.23	-0.64	-0.26	-1.08	-1.15	-0.20	-1.95
7 月		+0.15	-0.02	-0.05	+0.06	+0.13	-0.20	-0.43	-0.74	-1.88	-0.26	-0.91	-0.82	-0.23	-1.44
8 月		-0.73	-0.25	-0.27	-0.12	-0.72	-1.11	+0.39	+1.74	-3.85	-2.08	-2.50	-2.90	-0.88	-3.06
9 月		-0.10	-0.11	-0.42	-0.10	-0.23	-0.47	-0.43	-0.21	+0.77	+0.04	+0.83	+1.08	-0.44	+0.51
10 月		-0.94	-0.25	-0.32	-0.39	-0.31	-0.32	-1.46	-1.12	+0.08	-0.44	+0.63	+0.78	-0.37	-0.46
11 月		-1.09	-0.21	-0.28	-0.09	-0.52	-0.37	-0.88	-0.62	-0.83	-1.23	-1.18	-0.89	-0.56	-0.68
12 月		-0.58	-0.07	-0.09	-0.20	-0.23	-0.25	-0.46	-0.13	-0.70	-0.87	-0.74	-0.75	-0.38	-0.48

資 料 大阪市総合計画局公書対策部。

第 7 表 全国気象概況

本表の「平均相対湿度」は毎日3時、9時、15時、21時の4回の観測値を、「平均気温」はこの4回に更に6時、12時、18時、24時を加えた合計8回の観測値を算術平均したものである。「快晴日」は日平均曇量2.5未満をいい平均値は昭和6~35年の平均値である。 a)は昭和16~35年の平均。 b)は25~35年の平均である。

測 候 所	平均気温		平均相対湿度		降 水 量		快晴日 (42年)	測 候 所	平均気温		平均相対湿度		降 水 量		快晴日 (42年)
	平年値	昭和42年	平年値	昭和42年	平年値	昭和42年			平年値	昭和42年	平年値	昭和42年	平年値	昭和42年	
北海道								東 海 区							
稚 旭 根 札 釧 帯 函	a)6.2	6.4	a)76	78	a)1 1611	170.5	34	名 古 屋 区	14.4	15.0	76	71	1 546	1 602.0	88
東 北	6.0	6.3	79	78	1 1441	170.3	30	静 岡 区	a)15.6	16.0	a)73	69	a)2 426	2 086.9	75
青 秋 盛 仙 山 福	5.7	5.7	80	82	1 081	908.5	55	近 畿 区	14.7	15.1	75	72	1 704	1 646.0	83
宇 前 水 熊 鉢 東 横	7.6	8.0	76	73	1 1361	104.3	33	彦 彦 根 都 戸 阪 良 山 岬 取	13.8	14.1	79	76	1 650	1 636.9	46
北 陸	5.7	6.4	77	74	943	897.5	74	京 神 大 和 潮 中 鳥 松 岡 広 下 四 高 德 松 高 九 福 佐 大 熊 長 官 鹿 屋 見 久	14.6	15.3	74	69	1 579	1 517.4	53
東 北	a)8.1	8.3	78	77	1 1781	069.3	38	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.3	15.7	69	66	1 337	1 429.5	75
東 北	b)9.1	9.5	b)80	78	b)1 3001	421.3	19	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	a)15.5	16.3	72	66	1 359	1 416.0	66
東 北	10.7	11.1	78	74	1 7891	714.4	21	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	14.4	14.4	75	75	1 295.4	1 295.4	69
東 北	9.5	10.0	76	74	1 2751	186.7	26	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.5	16.3	73	69	1 435	1 032.3	60
東 北	11.3	12.2	76	72	1 2321	156.6	49	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	16.7	17.0	74	70	2 581	2 907.0	75
東 北	10.8	11.2	78	75	1 2361	206.8	26	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	b)14.5	14.4	b)77	76	b)2 036	1 992.4	28
東 北	12.1	12.6	74	71	1 1561	126.1	46	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	a)14.2	14.4	a)79	79	a)1 980	1 992.9	38
東 北	a)12.5	13.0	77	73	1 5221	271.2	60	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	b)14.5	14.7	75	71	1 139	1 159.5	80
東 北	13.4	13.9	69	66	1 2461	067.2	73	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	a)14.7	15.2	75	73	1 596	1 433.6	60
東 北	12.8	13.4	78	76	1 3961	188.2	77	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.4	15.7	74	73	1 701	1 209.3	62
東 北	13.7	14.3	73	69	1 2941	037.3	90	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	b)15.1	15.4	b)77	74	b)1 242	1 058.8	67
東 北	15.0	15.3	77	74	1 7151	471.0	67	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.3	15.9	75	70	1 625	1 069.2	72
東 北	14.7	15.7	71	62	1 5631	023.3	70	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.3	15.9	74	71	1 379	1 141.0	47
東 北	14.5	15.2	74	71	1 6651	064.4	68	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.8	16.5	76	71	2 646	2 352.9	86
東 北	a)12.9	13.1	a)77	74	a)1 8411	820.5	32	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.4	16.3	76	72	1 703	1 345.4	54
東 北	a)13.2	13.6	a)80	78	a)2 3702	305.8	26	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.6	16.2	76	73	1 884	1 412.4	64
東 北	13.5	14.0	77	78	2 5592	719.3	31	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.1	15.7	77	72	1 655	1 147.2	76
東 北	b)13.8	14.0	80	77	2 4212	551.0	36	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	15.7	16.3	76	73	1 869	1 129.0	35
東 北	11.1	11.4	76	74	1 001	915.1	51	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	b)16.5	16.8	74	72	1 957	1 450.1	59
東 北	13.5	13.7	74	69	1 207	923.9	71	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	16.7	16.9	78	77	2 571	1 850.8	89
東 北	14.5	15.1	75	70	1 8572	122.4	86	取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	16.8	17.4	78	75	2 337	1 875.3	52
東 北								取 江 山 島 関 松 島 山 知 岡 香 本 本 崎 野 本 府 卓	a)19.2	19.4	a)75	73	a)3 969	3 036.1	33

資 料 「日本統計年鑑」

第 3 章

人 口